

大学番号：国041

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

信州大学 工学部 土木工学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査・増田<sup>マスタ</sup>靖子<sup>ヤスコ</sup>

電話番号 0263-37-2122

(夜間) 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kkikaku-kikaku@shinshu-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	12
4	教員組織の状況	14
5	その他全般的事項	15

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 信州大学

## (2) 大学名

信州大学

## (3) 大学の位置

〒380-8553

長野県長野市若里四丁目17番1号

(〒390-8621 長野県松本市旭三丁目1番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 土木工学科  学士(工学)	4年	45人	2人 3年次	184人	

- (注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	45 ( ) [若干]		45 ( ) [若干]		45 (2) [若干]		45 (2) [若干]		1.05倍	
志願者数	167 (-) [5]	(-) [-]	168 (-) [8]	(-) [-]	100 (7) [9]	(-) [-]	136 (3) [10]	(-) [-]		
受験者数	134 (-) [5]	(-) [-]	142 (-) [8]	(-) [-]	93 (7) [9]	(-) [-]	129 (3) [10]	(-) [-]		
合格者数	52 (-) [1]	(-) [-]	53 (-) [1]	(-) [-]	49 (4) [3]	(-) [-]	51 (3) [3]	(-) [-]		
B 入学者数	47 (-) [1]	(-) [-]	49 (-) [0]	(-) [-]	46 (4) [0]	(-) [-]	47 (3) [1]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.08		1.02		1.04			

- (注)・( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・[ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 47	[-]	[-] 49	[-]	[-] 47	[-]	[1] 48	[-]	
2年次	/		[1] 46	[-]	[-] 48	[-]	[-] 46	[-]	
3年次	/		/		[2] 50	[-]	[-] 61	[-]	
4年次	/		/		/		[1] 38	[-]	
計	[1] 47		[1] 95		[2] 145		[2] 193		

- (注)・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 ( a )	在学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成20年度 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	計 [ 0 ] 1	(累積)計 [ 1 ] 47	2.1%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 47人	
	(主な退学理由) ・進路変更(他大学受験) 1人		
平成21年度 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	計 [ 0 ] 0	(累積)計 [ 1 ] 96	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 46人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 49人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	計 [ 0 ] 3	(累積)計 [ 2 ] 145	2.1%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 46人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 49人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 50人	
(主な退学理由) ・進路変更 2人 ・転学部 1人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学部 土木工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育 科目	<b>教 養 科 目</b>												
	<b>(環境科学群)</b>												
	<b>(A. 環境と人間)</b>												
		環境の構造と動態	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため区分を変更(23)
		環境と社会	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								
		環境と技術	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								
	<b>(人文学科学群)</b>												
	<b>(B. 精神と文化)</b>												
		精神と思想	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため区分を変更(23) カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		言語と表現	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		人類の歴史と発展	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		思想と表現	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		言語と文化の諸相	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	<b>(社会科学群)</b>												
	<b>(C. 世界と地域)</b>												
		日本社会の諸相	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため区分を変更(23) カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		ヨーロッパ社会の諸相	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		アメリカ(北,中,南米)社会の諸相	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		アジア・アフリカ社会の諸相	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		法・政治・経済の諸相	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		国際社会の構造と動態	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		日本社会の構造と動態	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		歴史と現代社会	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	<b>(自然科学群)</b>												
	<b>(D. 生命と物質)</b>												
		人間の生と行動	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため区分を変更(23)
		生物の世界											
		動物と植物	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を変更(23)
		物質の構造と動態	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								
		地球と宇宙	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								
	数理・情報の世界	1前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)	
<b>(E. 知の継承と発展)</b>													
	人文・社会科学の世界	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
	数理の世界	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
	学際と先端の科学・技術	4前後・2前後・ 3前後・4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	

科目区分	授業科目の名称		配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
共通教育科目	教養科目	(芸術・スポーツ群)											カリキュラム見直しのため区分を追加(23)		
		芸術	1前後・2前後・3前後・4前後										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)		
		スポーツ科学の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)		
		スポーツ実践演習	1前後・2前後・3前後・4前後										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)		
	基礎科目	外国語科目	英語	1前後	4										
			英語	2前後	4										
		健康科目	健康科学・理論と実践		2										カリキュラム見直しのため科目を変更(23)
			キャンパスライフと健康	1前	4										
		情報科目	情報科目	4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
		新入生ゼミ	新入生ゼミナール	1前	2			3	4			2			平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)
								2	5			3			教員が昇進したため(22)
		基礎科学科目	数学	1前後・2前	8										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
			微分積分学	4前後	4										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
			線形代数学	4後	2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
			線形代数学	2前	2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
物理学			1前・2前	4										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)	
物理学(力学)	4前		2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
物理学(電磁気学)	2前		2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
物理学実験	4後		2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
化学	1前		2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
化学実験	4前後		2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
生物学	1後	4										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)			
生物学実験	4後	2										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)			
地学	1後	4										カリキュラム見直しのため科目を追加(23)			
地学概論	4後	4										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)			
地学実験	4前後	2										カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)			
日本事情・日本	日本語	1前後・2前後・3前後・4前後		6											
	日本事情	1前後・2前後・3前後・4前後		12											
専門科目	応用数学	2前		2											
	応用数学	2後		2											
	応用数学	3前		2											
	確率・統計	2後		2											
	解析力学	2前		2											
	基礎物理学	2前	2			1									
	基礎数学	2前	2				1								
	地域の分析と計画	2前	2				4						教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)		
地域の分析と計画演習	2前	1					1			4		講義と演習の分担を変更したため(22)			
								2				平成20年度に教員が昇進したため(21)			
								1				講義と演習の分担を変更したため(22)			
	構造力学	2前	2			4						平成20年度から教員が未昇進のため(21)			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	構造力学	2後		2			1						
	構造力学 演習	2前	1				1			4		教員が昇進したため(21)	
	基礎水理学	2前	2				4			1		教員が昇進したため(22)	
	応用水理学	2後		2			1					教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)	
	基礎水理学演習	2前	1					1		1			
	土の力学	2前	2				4				1	平成20年度から教員が未昇進のため(21)	
	地盤の力学	2後		2				4				教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)	
	土の力学演習	2前	1							1			
	社会資本計画学	2後		2			1						
	卒業研究	4通年	10				5	5		3	0	0	教員配置見直しのため(23)
	社会環境工学	1後	2				5	5		3			平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21) 教員が昇進したため(23)
	土質・水環境実験	3前		1			1	3			1		授業計画の改善による変更のため(22)
	コンクリート・構造実験	3前		1			1			1			
	建設構造物設計製図	3後	1				1			4			教員が昇進したため(22)
	建設構造物設計製図	4前	1				1						
	構造設計学	3前		2			1						
	地震工学	3後		2			1						
	橋梁工学	3後		2			1						
	河川工学	3前		2				1					
	上下水道工学	3前		2				1					
	地水環境工学	2後	2				1						
	地盤工学	3後		2				1					
	都市・地域環境計画	2後	2				4		2		1		平成20年度から教員が未昇進のため(21)
	空間情報学	2後	2				4	4					平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)
	景観分析論	3前		2				1					
	交通計画	3後		2				1					
	交通システム論	3前		2			1		4				教員が昇進したため(22)
	建設マネジメント	4前		2			1	2					
	コンクリート工学	3前		2			1						
	コンクリート工学	3後		2			1						
	環境生態工学	4前		2				1					
	地圏環境学	3後		2				4					教員が昇進したため(22)
	数値計算法	3後		2				1					
地水環境工学	3前												
地水環境工学	3後		2			1						カリキュラム時間割見直しのため、変更(22)	
環境保全工学	2後	2					1						
海岸・湖沼工学	3後		2				4			1		授業計画の改善による変更のため(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	防災システム論	4前		2		1 2	1			1		教員配置見直しのため(23)
	特別演習	3後		1		4	2			3		授業計画の改善による変更のため(22)
	特別演習	3後		1		4	2			3		授業計画の改善による変更のため(22)
	総合演習	3前	1			4	2			3		授業計画の改善による変更のため(22) 教員配置見直しのため(23)
	空間情報実習	3前		1		4	4			1		授業計画の改善による変更のため(22)
	地域計画	3後		2								
	応用統計学	3前・4前		2								教員の退職により科目を廃止したため(21)
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後 ・4前後		1								
	特許実務概論	3前・4前		2								
	経営工学第1	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学第2	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	現代技術論	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	労働安全	2集中・3集中 ・4集中		2								教員の不在により科目を廃止したため(22)
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中 ・4集中		2								
	地域環境演習											
	地域環境演習	2前・3前 ・4前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	地域環境演習	2通年・3通年 ・4通年		1								教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため(23) 教育課程の充実を図るため科目を追加したため(23)
	環境内部監査実務	2前・3前 ・4前		2								
	学外特別実習	2通年・3通年 ・4通年		2								
	ボランティア特別実習第1	2通年・3通年 ・4通年		1								
	ボランティア特別実習第2	2通年・3通年 ・4通年		1								
	学外特別講義第1	2通年・3通年 ・4通年		2								
	学外特別講義第2	2通年・3通年 ・4通年		2								
	学外特別講義第3	2通年・3通年 ・4通年		2								
	環境政策概論	3前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(22)

- (注)・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しそのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても, 「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし, 「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 27	科目 74	科目 0	科目 101	科目 25	科目 70	科目 0	科目 95	
				[ 2]	[ 4]	[ ]	[ 6]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。(ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置無し
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
4	労働安全	2	2集中・3集中・4集中	専門	選択	担当可能な教員が不在のため。代替措置無し。
5	思想と表現	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
6	言語と文化の諸相	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
7	国際社会の構造と動態	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
8	日本社会の構造と動態	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
9	歴史と現代社会	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
10	人文・社会科学の世界	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
11	数理の世界	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
12	学際と先端の科学・技術	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
13	情報科目	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
14	微分積分学	4	1前後	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
15	線形代数学	2	1後	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
16	線形代数学	2	2前	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
17	物理学(力学)	2	1前	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
18	物理学(電磁気学)	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
19	物理学実験	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
20	化学実験	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
21	生物学実験	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
22	地学概論	4	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
23	地学実験	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。

(注)・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・ 応用統計学 高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり，廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p> <p>・ 経営工学第1及び経営工学第2 経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており，廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。</p> <p>・ 労働安全 十分な数の選択科目が開設されており，廃止による履修への大きな影響は無い。履修案内への記載により周知する。</p> <p>・ 5~23 カリキュラムの見直しに伴う廃止。科目名の見直し・統合をしたため廃止による影響は無い。履修案内への記載により周知する。</p>
--

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.22}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地		
	年	人	年次 人	人		倍				
人文学部						1.09	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	35	330	学士(文学)	1.09	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	35	310	"	1.10	"			
教育学部						1.04	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.04	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	"	1.05	"			
生涯スポーツ課程	4	30		120	"	1.05	"			
教育カウンセリング課程	4	20		80	"	1.08	"			
経済学部						1.11	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	320	540	学士(経済学)	1.10	"			
経済システム法学科	4	60	310	260	"	1.12	平成7年度			
理学部						1.03	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.04	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	"	1.03	"			
化学科	4	35		140	"	1.09	"			
地質科学科	4	30		120	"	1.04	"			
生物科学科	4	30		120	"	1.02	"			
物質循環学科	4	25		100	"	1.05	"			
各学科共通			310	20		0.75				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	115		633	学士(医学)	1.00	昭和26年度			
保健学科	4	143	317	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度			
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度より学生募集停止	
機械システム工学科	4	80	333	326	学士(工学)	1.06	平成10年度			
電気電子工学科	4	95	333	386	"	1.07	平成元年度			
社会開発工学科	4	-		-	"	-	"			
土木工学科	4	45	322	184	"	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50	322	204	"	1.08	"			
物質工学科	4	60	333	246	"	1.05	平成10年度			
情報工学科	4	90	333	370	"	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50	332	204	"	1.08	平成10年度			

大学の名称	信州大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
農学部						1.04	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.05	平成9年度		
森林科学科	4	61		244	"	1.05	"		
応用生命科学科	4	52		208	"	1.05	"		
各学科共通			310	20		0.90			
繊維学部						1.07	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
応用生物科学科	4	-		-	学士(農学)	-	昭和60年度	平成20年度より学生募集停止	
繊維システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成7年度		"
素材開発科学科	4	-		-	"	-	昭和63年度		"
機能機械学科	4	-		-	"	-	昭和61年度		"
精密素材工学科	4	-		-	"	-	昭和62年度		"
機能高分子学科	4	-		-	"	-	昭和53年度		"
感性工学科	4	-		-	"	-	平成7年度		"
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.10	平成20年度		〔創造工学系〕
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.13	"		
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.15	"		
応用化学課程	4	37	31	150	学士(工学)	1.06	"		〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
材料化学工学課程	4	37	31	150	学士(工学)		"		
機能高分子学課程	4	36	32	148	学士(工学)	"	"		〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)	"	"		
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.04	"		
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)	"	"		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<工学部 土木工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	0	3	13	0	5	7	0	3	15	0	
( 3 )	( 8 )	( 0 )	( 5 )	( 16 )	( 0 )	[ 0 ]	[ +2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ +2 ]	[ 0 ]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合： 1)



## 5 その他全般的事項

<工学部 土木工学科>

情報提供に関する事項

### 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 年 月 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学) 」としてください。

大学番号：国041

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

事前伺い

信州大学 工学部 建築学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査・増田 靖子

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kkikaku-kikaku@shinshu-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	12
4	教員組織の状況	14
5	その他全般的事項	15

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 信州大学

## (2) 大学名

信州大学

## (3) 大学の位置

〒380-8553  
長野県長野市若里四丁目17番1号  
(〒390-8621 長野県松本市旭三丁目1番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 建築学科  学士(工学)	4年	50人	2 3年次 人	204人	

(注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 (-) [若干]		50 (-) [若干]		50 (2) [若干]		50 (2) [若干]		1.07倍	
志願者数	265 (-) (-) [6] [-]		167 (-) (-) [12] [-]		263 (4) (-) [12] [-]		231 (3) (-) [15] [-]			
受験者数	204 (-) (-) [6] [-]		138 (-) (-) [11] [-]		218 (4) (-) [11] [-]		176 (3) (-) [14] [-]			
合格者数	58 (-) (-) [1] [-]		62 (-) (-) [2] [-]		60 (3) (-) [2] [-]		65 (3) (-) [2] [-]			
B 入学者数	53 (-) (-) [1] [-]		55 (-) (-) [2] [-]		52 (3) (-) [0] [-]		55 (3) (-) [2] [-]			
入学定員超過率 B / A	1.06		1.10		1.04		1.10			

- (注)・( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・[ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 53	[-]	[2] 55	[-]	[-]	[-]	[2] 55	[-]	
2年次	/		[1] 53	[-]	[2] 54	[-]	[-]	[-]	
3年次	/		/		[1] 55	[-]	[3] 66	[-]	
4年次	/		/		/		[-] 45	[-]	
計	[1] 53		[3] 108		[3] 161		[5] 218		

- (注)・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けていない場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 ( a )	在学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 2 0 年度 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ 1 ]	0%
	うち平成 2 0 年度入学者 人	うち平成 2 0 年度 53人	
(主な退学理由)			
平成 2 1 年度 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 3 ]	1.9%
	うち平成 2 0 年度入学者 1人	うち平成 2 0 年度 53人	
	うち平成 2 1 年度入学者 1人	うち平成 2 1 年度 55人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 1人 ・学生個人の心身に関する事情 1人			
平成 2 2 年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 3 ]	0.6%
	うち平成 2 0 年度入学者 1 人	うち平成 2 0 年度 52 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 0 人	うち平成 2 1 年度 54 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0 人	うち平成 2 2 年度 55 人	
(主な退学理由) ・進路変更 1人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学部 建築学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
共通教育科目	(環境科学群)												
	(A. 環境と人間)											カリキュラム見直しのため区分を変更(23)	
	環境の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	環境と社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	環境と技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	(人文科学群)												
	(B. 精神と文化)												カリキュラム見直しのため区分を変更(23)
	精神と思想	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	言語と表現	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	人類の歴史と発展	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	思想と表現	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	言語と文化の諸相	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	(社会科学群)												
	(C. 世界と地域)												カリキュラム見直しのため区分を変更(23)
	日本社会の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	ヨーロッパ社会の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	アメリカ(北,中,南米)社会の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	アジア・アフリカ社会の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	法・政治・経済の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
	国際社会の構造と動態	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	日本社会の構造と動態	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	歴史と現代社会	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
	(自然科学群)												
	(D. 生命と物質)												カリキュラム見直しのため区分を変更(23)
	人間の生と行動	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
	生物の世界												
	動物と植物	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を変更(23)
物質の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2										
地球と宇宙	1前後・2前後・3前後・4前後		2										
数理・情報の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)	
(E. 知の継承と発展)												カリキュラム見直しのため区分を廃止(23)	
人文・社会科学の世界	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
数理の世界	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
学際と先端の科学・技術	4前後・2前後・3前後・4前後		2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
共通教育科目	教養科目 (芸術・スポーツ群) 芸術 スポーツ科学の諸相 スポーツ実践演習	1前後・2前後・ 3前後・4前後										カリキュラム見直しのため区分を追加(23) カリキュラム見直しのため科目を追加(23) カリキュラム見直しのため科目を追加(23) カリキュラム見直しのため科目を追加(23)	
		外国語 英語	1前後 2前後	4 4									
		健康科学 健康科学・理論と実践 キャンパスライフと健康	1前	2 1									カリキュラム見直しのため科目を変更(23)
	情報科目 情報科目	4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)	
	新入生ゼミ 新入生ゼミナル	1前	2			4 5	5	1		3		平成20年度から教員が未補充のため(21)	
	基礎科目 基礎科学科目	数学	1前後・2前	8									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		微分積分学	4前後	4									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		線形代数学	4後	2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		線形代数学	2前	2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		物理学	1前・2前	4									カリキュラム見直しのため科目を追加(23)
		物理学(力学)	4前	2									カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		物理学(電磁気学)	2前		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		物理学実験	4後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
		化学	1前		2								
		化学実験	4前後 1後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)
生物学		4前後		4								カリキュラム時間割見直しのため変更(23)	
生物学実験	4後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
地学	1後		4								カリキュラム見直しのため科目を追加(23)		
地学概論	4後		4								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
地学実験	4前後		2								カリキュラム見直しのため科目を廃止(23)		
日本事情 日本事情・日	日本語	1前後・2前後・ 3前後・4前後		6									
	日本事情	1前後・2前後・ 3前後・4前後		12									
専門科目	応用数学	2前	2										
	確率・統計	2後	2										
	応用数学	2後		2									
	応用数学	3前		2									
	解析力学	2前		2									
	建築構造力学第1	2前	2			1							
	建築構造力学第2	2後	2				1						
	建築構造力学第1演習	2前	1			1	4					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)	
	建築構造力学第2演習	2後	1			4	1					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)	
	建築材料						2						
	建築材料力学	2後	2			1						教育課程の充実を図るため教員及び教育内容を変更したため(22)	
	鉄筋コンクリート構造	3前	2			4	1					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)	
	鋼構造	3前	2			1							
	建築地盤工学	3後		2		1	1						
	建築環境工学第1	2前	2			1							
建築環境工学第2	2後 3前	2				4					平成20年度に教員が昇進したため(21)		
建築設備第1	2後	2			1						教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため(21)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	建築設備第2 建築設備基礎	3後	2			1	1					教員が昇進したため(23)	
	音響設計	2後 3前	2			4				4		教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため。退職により教員を変更したため(21) 教員の変更に伴い教育内容を変更したため(22)	
	応用環境工学						1				4	教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため。教員が昇進したため(23)	
	都市環境工学	3前	2			4				1	4	教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)	
	建築計画第1	2前	2				4			4		平成20年度から教員が未昇進のため(21) 教員が昇進したため(22)	
	建築史第1 建築保存再生論	2前 3前	2 2			1 1				2 4	4		
	建築設計製図第1	2前	2			4	2				4	平成20年度から教員が未補充のため(21) 教員が昇進したため(22)	
	建築設計製図第2	2後	2			1	2				4	平成20年度から教員が未補充のため(21) 教員が昇進したため(23)	
	建築設計製図第3	3前	2			1 2	4				1	平成20年度から教員が未補充のため(22)	
	建築設計製図第4	3後	2			1 2	4				1	平成20年度から教員が未補充のため(22)	
	卒業研究	4通年	10			5 2 3 4	5 4 3 4			1 2	3		
	都市と建築	1後	2			5	5			1	2	3	平成20年度から教員が未補充のため(21) 教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22) 教育課程の充実を図るため教員を変更したため(23)
	木質構造	2後		2			1						
	建築構造材料実験	3後		1			1	2			4		教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)
	防災工学	3後		2			1	1					
	建築構造設計	3後		2			1	1					
	振動学	3前	2				1	1					
	建築環境工学演習	3後 2後		1			1	4			4		教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)
	建築設備演習	3後 2後		1			1	4			4		教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)
	都市・地域環境計測	3後		2			4	4					平成20年度に教員が昇進したため(22)
	応用環境工学演習							1					
	都市環境工学演習	3前		1			4				4		教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22) 教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため。教員が昇進したため(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎環境工学					1						
	建築情報工学	2前		2			4					平成20年度に教員が昇進したため(21) 教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため(22)
	建築環境工学実験	3前		1			2	4		4		平成20年度に教員が昇進したため(22) 教員が昇進したため(23)
	建築デザイン論	2後		2			1	4				教員が昇進したため(21)
	建築計画第2	3前		2			1					
	建築史第2	2後		2				1		4		平成20年度から教員が未昇進のため(21) 教員が昇進したため(22)
	地域計画	3後		2				4			1	平成20年度から教員が未昇進のため(22)
	建築設計製図第5	4前		2			1	2			1	教員が退職したため(23)
	建築法規	3前・4前		2				4				平成20年度から教員が未補充のため(22)
	建築施工学	3前・4前		2				4				教育課程の充実を図るため教員を変更したため(23)
	地圏環境学	3後		2								
	地水環境工学	4後		2								
	応用統計学	3前・4前		2								教員の退職により科目を廃止したため(21)
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後・4前後		1								
	経営工学第1	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学第2	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	現代技術論	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	特許実務概論	3前・4前		2								
	労働安全	2集中・3集中・4集中		2								教員の不在により科目を廃止したため(22)
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中・4集中		2								
	地域環境演習											
	地域環境演習	2前・3前・4前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21) 教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため(23)
	地域環境演習	2通年・3通年・4通年		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(23)
	環境内部監査実務	2前・3前・4前		2								
	学外特別実習	2通年・3通年・4通年		1								
	ボランティア特別実習1	2通年・3通年・4通年		1								
	ボランティア特別実習2	2通年・3通年・4通年		1								
	学外特別講義第1	2通年・3通年・4通年		2								
学外特別講義第2	2通年・3通年・4通年		2									
学外特別講義第3	2通年・3通年・4通年		2									
環境政策概論	3前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(22)	

- (注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字で
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」に反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 33	科目 64	科目 0	科目 97	科目 31 [ 2]	科目 60 [ 4]	科目 0 [ ]	科目 91 [ 6]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	建築法規	2	3前・4前	専門	選択	隔年開講科目。平成24年度開講。
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置なし
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
4	労働安全	2	2集中・3集中・4集中	専門	選択	担当可能な教員が不在のため。代替措置無し。
5	思想と表現	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
6	言語と文化の諸相	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
7	国際社会の構造と動態	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
8	日本社会の構造と動態	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
9	歴史と現代社会	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
10	人文・社会科学の世界	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
11	数理の世界	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
12	学際と先端の科学・技術	2	1前後・2前後・3前後・4前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
13	情報科目	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
14	微分積分学	4	1前後	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
15	線形代数学	2	1後	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
16	線形代数学	2	2前	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
17	物理学(力学)	2	1前	一般	必修	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
18	物理学(電磁気学)	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
19	物理学実験	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
20	化学実験	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
21	生物学実験	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
22	地学概論	4	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。
23	地学実験	2	1前後	一般	選択	カリキュラム見直しのため。代替措置有。

(注)・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・応用統計学  
高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。

・経営工学第1及び経営工学第2  
経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており、廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。

・建築施工学  
隔年で開講し、3年生・4年生が合同で受講する。平成23年度開講。履修案内への記載により周知する。

・労働安全  
十分な数の選択科目が開講されており、廃止による履修への大きな影響は無い。履修案内への記載により周知する。

・5-23  
カリキュラムの見直しに伴う廃止。科目名の見直し・統合をしたため廃止による影響は無い。履修案内への記載により周知する。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.23}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地		
	年	人	年次 人	人		倍				
人文学部						1.09	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	35	330	学士(文学)	1.09	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	35	310	"	1.10	"			
教育学部						1.04	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.04	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	"	1.05	"			
生涯スポーツ課程	4	30		120	"	1.05	"			
教育カウンセリング課程	4	20		80	"	1.08	"			
経済学部						1.11	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	320	540	学士(経済学)	1.10	"			
経済システム法学科	4	60	310	260	"	1.12	平成7年度			
理学部						1.03	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.04	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	"	1.03	"			
化学科	4	35		140	"	1.09	"			
地質科学科	4	30		120	"	1.04	"			
生物科学科	4	30		120	"	1.02	"			
物質循環学科	4	25		100	"	1.05	"			
各学科共通			310	20		0.75				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	115		633	学士(医学)	1.00	昭和26年度			
保健学科	4	143	317	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度			
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度より学生募集停止	
機械システム工学科	4	80	333	326	学士(工学)	1.06	平成10年度			
電気電子工学科	4	95	333	386	"	1.07	平成元年度			
社会開発工学科	4	-		-	"	-	"			
土木工学科	4	45	322	184	"	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50	322	204	"	1.08	"			
物質工学科	4	60	333	246	"	1.05	平成10年度			
情報工学科	4	90	333	370	"	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50	332	204	"	1.08	平成10年度			

大学の名称	信州大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
農学部						1.04	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.05	平成9年度		
森林科学科	4	61		244	"	1.05	"		
応用生命科学科	4	52		208	"	1.05	"		
各学科共通			310	20		0.90			
繊維学部						1.07	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
応用生物科学科	4	-		-	学士(農学)	-	昭和60年度	平成20年度より学生募集停止	
繊維システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成7年度		"
素材開発科学科	4	-		-	"	-	昭和63年度		"
機能機械学科	4	-		-	"	-	昭和61年度		"
精密素材工学科	4	-		-	"	-	昭和62年度		"
機能高分子学科	4	-		-	"	-	昭和53年度		"
感性工学科	4	-		-	"	-	平成7年度		"
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.10	平成20年度		〔創造工学系〕
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.13	"		
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.15	"		
応用化学課程	4	37	31	150	学士(工学)	1.06	"		〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
材料化学工学課程	4	37	31	150	学士(工学)				
機能高分子学課程	4	36	32	148	学士(工学)	"	"		〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)	"	"		
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.04	"		
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)	"	"		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成年より学生募集停止」と記入してください。



#### 4 教員組織の状況

<工学部 建築学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	0	3	13	0	4	4	1	2	11	0	
( 4 )	( 3 )	( 2 )	( 2 )	( 11 )	( 0 )	[ 1 ]	[ 1 ]	[ + 1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合： 1)

## 5 その他全般的事項

<工学部 建築学科>

情報提供に関する事項

### 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 年 月 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学) 」としてください。